

「大分市教育施設整備保全計画2026（案）」の市民意見公募において寄せられた意見等の概要とそれに対する本市の考え方

意見提出期間：令和8年4月1日（水）～令和8年4月30日（木）

意見の提出者：7人

意見件数：8件

番号	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	学校内に防犯カメラの設置をお願いしたい。 (同様の意見 外4件)	防犯カメラについては、学校敷地の出入口にはすでに設置済みであります。校舎内への防犯カメラ設置については、プライバシーや児童生徒の心理的な影響など、学校運営への影響もありますことから、慎重な判断が必要と考えています。
2	中学校のトイレ配管が詰まっていて、掃除をしても、異臭がするので、窓を開けることができないと聞いています。改善をお願いします。	トイレの故障や配管の詰まりなどについては、適宜、修繕をしており、トイレの異臭についても、必要に応じて対応しているところです。引き続き現状の把握と調査を行い教育環境の改善を行ってまいります。
3	校舎の教室ロッカーが何十年も前のままなので、学生カバンが入るくらいの高さしかない。改善をお願いします。	普通教室のロッカーにつきましては、ランドセルやカバンの大型化などに対応するため適宜、ロッカー改修を実施しております。引き続き各学校の現状の把握と調査を行い教育環境の改善を行ってまいります。
4	予測を上回る少子化により、教育施設の過剰化は避けられない。将来的に売却し、資産を最適化するのが最善と考える。	人口減少社会における施設保有量の適正化は、行政運営における課題の一つであることから、施設維持のコストと将来的な需要を照らし合わせながら計画を進めてまいります。